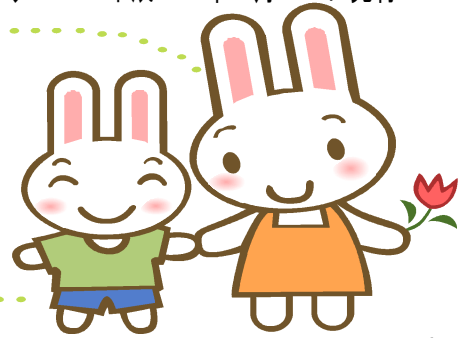




ぐんま 幼児教育センターだより

第26号



センターの中にセンター — 幼児の幸せを願って10年が —

群馬県総合教育センター
所長 岡島 美智子

先日、我が家の本棚の隅にうっすらと埃をかぶった何冊かの本が目にとまりました。『あかちゃん教育』『幼稚園では遅すぎる』などの本です。今思うと、私なりの子育てへの不安を和らげようと本を頼りにしていたのだと思います。当然子どもに過度の期待をしていたわけではありませんが、「子どもは育てたようにしか育たない」といった言葉に出会う度に不安を感じ、親になったその時から教育は始まるのだなと実感したものです。

今年度、幼児教育センターは開所から10年目を迎えました。開所当時の大きな役割として「幼児のいるすべての家庭を応援するとともに、すべての幼稚園・保育所等を応援するための事業を行っていく。そして、これらの事業を推進するために、幼児教育の専門家が『保育アドバイザー』としてチームを組んで支援していく。」等を掲げ、スタートしました。未来を担う大切な子どもたちを育てるために、家庭教育も含めて、幼児期の教育を充実させていく必要があると強く感じ、「まちかど子育て会議」や「夕やけ保育研修会」などを立ち上げ、保護者の悩みや保育者の身近な課題に触れながら、幼児教育の充実に向けて取り組んで参りました。

子ども・子育て支援新制度が昨年4月から本格施行され、地域の実情に応じた質の高い幼児教育や保育の提供、地域の子ども・子育て支援事業が総合的に展開されています。しかし、認定こども園の大幅増等による子育て環境は、充実の方向にあるものの、幼稚園・保育所等を含めた教職員の資質向上や子育て中の保護者への支援にはまだ課題も多く、これまでも増して関係機関が連携し、制度の推進に努めなければならないと感じています。当総合教育センターにおきましても、幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期であることを再認識し、教職員向け研修講座等の充実、保育アドバイザー派遣事業の拡充、更には家庭教育充実のための研修支援等の取組を一層推進させていきたいと考えています。

幼児期の教育は、家庭と幼稚園・保育所等が連携、連動して育ちを促すことが大切です。家庭での愛情やしつけは幼児の豊かな心の基盤を形成し、幼稚園・保育所等での活動すべてが幼児期なりの豊かな世界を広げることになるのでしょう。幼児教育センターの各種事業がその架け橋となり、すべての幼児の幸せのために大いに貢献できるよう今後も取り組んで参ります。



幼児教育センター

保育アドバイザーのご案内

幼児教育センターでは、幼児教育や家庭教育を支援するため、保育や教育の専門家で経験、知識とも豊富な「保育アドバイザー」を派遣しています。

保育アドバイザー派遣先

幼稚園、保育所、認定こども園、子育て支援団体等はもちろん、小学校、中学校、高校にも派遣できます！！

どこにでも！



費用について

無料！

保育アドバイザー派遣は、原則無料！！
(2年連続の派遣や、ご予算がある場合にはご相談ください。)

具体的な活用方法(例)

○講演会 ○研修会 ○保護者会 ○親子行事等で！



☆幼稚園、保育所、認定こども園、子育て支援団体など

【教職員向け】

- ・「保護者との関係づくり」
- ・「幼小連携・接続」
- ・「気になる子どもの理解と援助」
- ・「幼児の見取りと発達の理解」
- ・「幼児期に必要な運動遊び」
- ・「幼児期にふさわしい環境の構成と援助」

【保護者向け】

- ・「子どもの生活リズムと発達」
- ・「子育てに絵本を」
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」
- ・「子どものほめ方・叱り方」

【親子向け】

- ・「親子のふれ合い遊び」 など

☆小学校

就学時健診、新入学保護者説明会などでも！

【教職員向け】

- ・「幼小連携・接続について」
- ・「気になる子どもの理解と援助」

【保護者向け】

- ・「小学校生活のスタートにあたって」

【親子向け】

- ・「親子で取り組む運動遊び」 など

☆中学校・高校

講演会や授業等でも！

- 【生徒向け】・「伝えたい“いのち”のこと」
- ・「家庭の役割」 など

保育アドバイザーの派遣手続きは簡単！

①希望の日時や内容、講師など電話でご相談下さい。

②講師決定後、派遣依頼書をFAX・メールでご提出下さい。

③派遣終了後、実施報告書をFAX・メールでご提出下さい。

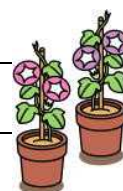
まずは
お電話で！

※派遣依頼書、実施報告書は総合教育センターのWebページからダウンロードできます。

http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=74

平成28年度 保育アドバイザーを紹介します

氏名	経歴等
田子 文子	元明和学園短期大学教授、公立幼稚園長・相談員経験者
森 静子	関東短期大学教授
井上 暁子	明和学園短期大学准教授、障害児施設の指導員等経験者
今井寿美枝	チャイルドハウスゆうゆう施設長、レクリエーションコーディネーター
高橋恵津子	明和短期大学非常勤講師、公立幼稚園長経験者
八重樫節子	東京福祉大学准教授、養護教諭経験者
山西 加織	高崎健康福祉大学講師
安田 淑美	臨床心理士、元群馬県発達障害者支援センター所長
横山由美子	子育て支援の会 ピヨピヨの会代表
仁井田千寿	大泉保育福祉専門学校講師、キッズ・ジュニアエアロビック指導員
武藤久美子	小学校教諭経験者
井上 幸恵	小学校教諭経験者



平成28年度 幼児教育センターより

群馬県総合教育センター幼児教育センターは平成19年度に開所し、全国的に見ても先進的な取り組みを続け、本年度で10年目に入りました。

公立・私立、幼稚園・保育園・幼保連携型認定こども園の別などを、可能な範囲で取り払い、「群馬の幼児教育・保育の質の向上」を総合的に目指しています。

今年度は、小林澄子センター長を迎え、気持ちも新たにスタッフ3名で力を合わせ、幼児教育センター各種事業に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

平成28年度 幼児教育センター職員

センター長	小林 澄子	指導主事	鈴木 貴子 ・ 佐藤 淳
-------	-------	------	--------------

小林 センター長 あいさつ	着任して3ヶ月が経ちました。幼児教育関係者の皆様にはお世話になります。解決すべき課題は多いですが、保育アドバイザー、研修指導員の先生方をはじめ、大勢の方々にお力添えいただき心から感謝する日々です。よろしくお願いいたします。
都丸 元センター長 あいさつ	小学校に着任し、幼児期の教育・保育の大切さ、ありがたさを改めて感じています。幼児教育センター在職中は大変お世話様になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。どうもありがとうございました。

※都丸千寿子元センター長（4年間勤務）は、今年度校長として渋川市立橋北小学校へ異動しました。

幼児教育センター調査研究事業

群馬県総合教育センター幼児教育センターでは、調査研究事業として平成26年度より「幼児期における運動遊びに関する調査研究」に取り組んでいます。



【調査研究の経緯】

平成24年3月に文部科学省は、主体的に体を動かす遊びを中心とした身体活動を、幼児の生活全体の中に確保していくことが重要であるとし、「幼児期運動指針」を公表し、幼児期に必要な多様な動きの獲得や体力・運動能力等を培うことの重要性や方向性を示しました。

これを受けて、群馬県総合教育センターでは以下のように調査研究を進めています。

平成26年度

- 県内全園に「幼児期における運動遊びに関する調査」を実施し、県内における運動遊びに関する現状と課題の把握
→調査結果については幼児教育センターweb上にて公開中
- 課題解決に向けたリーフレット「体を動かして遊ぼう」を作成し、メールにて配布
→リーフレット「体を動かして遊ぼう」はweb上にて公開中

平成27年度

- 課題解決に向けた運動遊びに関する実技研修会の開催
(夕やけ保育研修会3回・幼児教育研修講座)
- 夕やけ保育研修会参加者に協力を依頼し、「運動遊び実践事例集」の作成
→「運動遊び実践事例集」はweb上にて公開中



平成28年度

過去2年間の研究成果・課題を受けて、以下のような取り組みを進めています。



① 課題解決に向けた運動遊びに関する実技研修会の開催

講師：高崎健康福祉大学 山西 加織 先生

6月24日(金) 15:00~17:00	吉岡町 社会体育館	好評のうちに終了
8月23日(火) 15:00~17:00	東吾妻町 あづま農村環境改善センター	申込み受付中
10月14日(金) 15:00~17:00	高崎市 吉井町吉井体育館	申込み受付中



吉岡会場参加者の声

- 子どもたちに、遊びの中でどのような動きを経験させると良いか実技を通して学べて良かった。
- 新たなことをするのではなく、今までの遊びをアレンジすることの重要性がわかった。
- 体を動かす遊びの楽しさがわかった。

※ 東吾妻会場、高崎会場の研修会にぜひご参加下さい！

② 保護者向け資料「おうちでできる運動遊び(仮)」作成

幼児期における運動遊びは「生活全体」がキーワードです。そのためには、園や保育者だけでなく、家庭や保護者との連携が欠かせません。

そこで、幼児教育センターでは保護者向け資料「おうちでできる運動遊び(仮)」を作成中です。

園から家庭に配布していただき、園と家庭が連携・協力しながら幼児期における運動遊びの充実を図ることを目的としています。

予定している内容

- 幼児期における運動遊びの重要性(家庭へ向けたメッセージ)
- おうちでできる運動遊び実践例
- 生活習慣・安全・健康について 等

